

慢性腎臓病における尿細管膜タンパク質発現に影響する因子の検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年9月4日～2027年12月31日

〔研究課題〕 慢性腎臓病における尿細管膜タンパク質発現に影響する因子の検討

〔研究目的〕 慢性腎臓病患者は日本人成人の8人に1人とされ、新たな国民病とも言われています。高血圧は慢性腎臓病の病態に密接に関連しており、高血圧と慢性腎臓病は悪循環を形成していますが、その一方で慢性腎臓病における高血圧の発症機序については十分に明らかとなっていません。

腎臓の尿細管は塩分の再吸収を制御しており、腎機能が正常な方では体内の塩分量の変化に伴って、腎臓が適切に塩分を排泄することで、血圧が正常に保たれます。慢性腎臓病では、これらの塩分輸送の障害が起こると考えられますが、詳細は解明されていません。この研究では、慢性腎臓病患者さんにおいて、塩分を輸送する分子の変化を探索的に検討し、診療上に有用な情報を得ることを目的としています

〔研究意義〕 本研究の解析により診療の質の改善や医療費の削減につながる可能性があります。

〔対象・研究方法〕 調査対象となるのは2008年4月から2022年2月までに当大学附属病院で腎生検を受けた患者さまです。調査項目は、年齢、性別、臨床症状、検査データ、組織所見、治療方法、経過などです。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院 腎臓内科

〔個人情報の取り扱い〕 研究で知り得た個人情報については、内科医局内で管理し、外部に漏洩しないように細心の注意を払って厳重に管理します。あなたの検体や臨床検査データを匿名化し、あなたの名前は付けずに番号だけを付けて扱います。研究終了後は、情報が外部に漏洩しない方法で破棄します。

〔その他〕 今回の研究で得られた全体的な結果については、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部内科学講座 柴田茂

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211(代表)